

放射線管理手帳 運用要領・記入要領（事業者用）第 12 版 正誤表

ページ数	誤	正
P 34 下から 12 行目	次により手帳の <u>合併申請</u> を行う。	次により手帳の統合を行う。
P 34 下から 10 行目	事業者は、 <u>手帳を合併する場合</u> には、 <u>手帳合併申請書を作成し、本人から同意の確認後、新旧手帳を添えて手帳発効機関に申請する。</u>	事業者は、同一人に対して重複中央登録番号が付番されている事が判明した場合には、本人に経緯を確認し新旧手帳を持参し手帳発効機関に申し出る。
P 34 下から 8 行目	② 手帳の <u>管理等</u>	② 手帳の統合後の管理
P 34 下から 7 行目	<u>合併処理</u>	統合処理
P 34 下から 6 行目	個人管理台帳に <u>合併</u> した旨記入し、本人に <u>再度損傷または紛失しないよう指導</u> するとともに、	個人管理台帳に統合した旨記入し、本人に説明・指導するとともに、
P 56 下から 12 行目	CHAN <u>MEIFAN</u>	CHAN. M
P85 G 欄記入例 施設名の列	除染特別 <u>区域</u>	除染特別地域
P 90 下から 9 行目	X+X+X→「 <u>0 (3X) ミリシ</u> <u>ーベルト</u> 」とする。	X+X+X→「0.0 (3X) ミリ シーベルトまたは 0 (3X)」 とする。
P109		別紙参照
P130 5 行目	以下の事象が発生した場合に、 <u>閉鎖処理を行う。</u>	以下の事象が発生した場合は (1) ~ (3) については手帳発効機関で閉鎖処理を行う。(4) については事業者が閉鎖処理を行う。

P 143 「施設名」の行 右の欄 1 行目	「除染特別 <u>区域</u> 」、	「除染特別地域」、
P144 ①施設名 右の欄 3 行目	「除染特別 <u>区域</u> 」、	「除染特別地域」、
P145 ⑦施設名 右の欄 3 行目	「除染特別 <u>区域</u> 」、	「除染特別地域」、
P147 ①教育内容 (対象 施設等) 右の欄 2 行目	「除染特別 <u>区域</u> 」、	「除染特別地域」、
P149 G 欄記入例 施設名の列 (4 か所)	除染特別 <u>区域</u>	除染特別地域
P149 G 欄記入例 ふきだし中	「除染特別 <u>区域</u> 」、	「除染特別地域」、
P150 H 欄記入例 対象施設等の列 (3 か所)	除染特別 <u>区域</u>	除染特別地域
P150 H 欄記入例 ふきだし中	「除染特別 <u>区域</u> 」、	「除染特別地域」、

旧手帳（既発行手帳）

E. 被ばく前歴

a. 本手帳発行前年度までの個人線量の記録
(昭和63年度以前) 単位:ミリレム

17 昭和・平成 年 月 日～昭和63年度末
18 前歴なし (X)

19 (平成元年度以降) 単位:ミリシーベルト

20 平成 年 月 日～平成 23年度末
21 前歴なし (X)

22	年度	(X)
23	年度	(X)
24	年度	(X)
25	年度	(X)

上記線量の の内緊急 作業線量	22年度	18.2 (0 X)
	23年度	20.0 (1 X)
	年度	(X)

b. 本手帳発行後の年度別実効線量 単位:ミリシーベルト

年 度	実 効 線 量
24 年度	18.2 (4 X)
25 年度	20.0 (4 X)
26 年度	0.46 (0 X)
27 年度	0.51 (0 X)
28 年度	0.20 (0 X)
29 年度	0.30 (0 X)

新し手帳（継続発行手帳）

旧手帳の記入内容を転記する。

E. 被ばく前歴

a. 本手帳発行前年度までの個人線量の記録
(昭和63年度以前) 単位:ミリレム

17 昭和・平成 年 月 日～昭和63年度末
18 前歴なし (X)

19 (平成元年度以降) 単位:ミリシーベルト

20 平成 24年 4月 / 日～平成 29年度末
21 39.67 (8 X)

22	26 年度	0.46 (0 X)
23	27 年度	0.51 (0 X)
24	28 年度	0.20 (0 X)
25	29 年度	0.30 (0 X)

上記線量の の内緊急 作業線量	22年度	18.2 (0 X)
	23年度	20.0 (1 X)
	年度	(X)

b. 本手帳発行後の年度別実効線量 単位:ミリシーベルト

年 度	実 効 線 量
年度	(X)
年度	(X)
年度	(X)
年度	(X)
年度	(X)

・上段に旧手帳のG欄から放射線業務の開始年月日「24.4.1」、右側に継続発行前年度の年「29」を記入する。
・下段については、29年度末までの実効線量「39.67(8×)」を記載する。

過去4年間の単年度の実効線量(含×回数)を旧手帳から転記する。

「本手帳発行前年度までの個人線量の記録」欄の下の余白部に、緊急作業線量記入枠をスタンプ等で追加

緊急作業の従事歴がある者は直近4年間からはずれた場合でも必ず記入する。